

4/16(水)滝行

[白滝大神 滋賀県大津市]

知人と一緒に行きました。

3筋で景色は良く、思っていたより  
水量水圧がありました。久々で足下が  
冷たかったですが良い体験ができた  
ました。滋賀県は、初です。これで、近畿  
2府4県制覇。

松瀬（LIP編集部）



鉄印旅 3ページ



✎ 言いたい放題！アッキー28号（70）

同期のワタシたち

✎ 鉄印旅は、楽しいよ⑧ ～京都丹後鉄道～2025.1.3～

✎ 『作らずにはられない』28

新習慣／毎朝33mの山登り

✎ 原発賠償関西訴訟原告より

114号線は、涙道～帰宅困難区域特定解除地への「里帰り」

✎ 今月の五行歌

✎ なんちゃって農業女子(46)

✎ 桜（エッセイサークル叢作品）

✎ イベント紹介／会計報告／編集後記



「LIP編集部」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18時以降）



「なんか不思議なんだけど……」SNSを見てみると高校同期のA君の投稿が目に入った。「うまく言えないんだけど、とても優しい雰囲気仲間たちなんです。」ゆらゆら揺れる、屋形船のなかで歓談する男女の動画が添えられている。おお、特別企画のミニ同期会、今日だったんだ……。

私の卒業した高校では、卒後30年で最初の学年同期会、その後4年ごとに学年同期会が開かれることになっている。コロナ禍で中断したそんな交わりも復活して、60代半ばの私たちは、旧交を温め語り合うクラス会や同期会が今や真っ盛りのお年頃。

障害の子もいるし、週末夕方からの屋形船企画には参加できなかったけれど、盛会で楽しかったみたい、よかったね。

「優しい雰囲気仲間たち」とA君は書いているが、確かに私たちの学年は、遊びも派手で勉強もよくできた1年上と違い、全体にまじめでおとなしい雰囲気だった。家を護るという成年生まれが殆どのせいだろうか。

さて、同窓会は「勝ち組」の行くところと時に言われる。確かにそうだなあと思つところもあって、昨年春の同期会には締め切り直前まで参加するがどうか迷ったが、結局申し込んだ。ちょうどその頃、奥能登在住で元日の能登半島地震直後村落全員で避難したが、愛犬を案じ元の住居に戻った仲の良い元同級生のために、何か力になれないかと、もう一人の友人K子さんが声をかけてくれ、同期会幹事とも相談の末、会場で支援金を呼びかけようということになった。かわいいカンパ箱や呼びかけ文をK子さんが作って送ってくれたが、彼女自身は参加で

言いたい放題! アッキー28号 (70)

同期のワタシたち

きないため、同期会では私が呼びかけをすることに。

130人もの前でマイクを握るなんて、初めてだ。いつものスツピンで、気後れしたが、親友のためにと勇気をふるい、呼びかけ文を読みあげカンパを呼びかけた。結果、思いのほか多くの支援金が集まり、同期会には行けないけれど個人的に送ると言ってくれた人たちもいて、まとめて奥能登の彼女に送金、地域の復興のために役立ててもらおうことができた。

同期会のご縁はそれだけではない。出席してくれた6人の先生方のなかで、一言、とマイクを向けられ、ウクライナやガザのことを皆も考えてくださいと訴えられたM子先生。そして、ずっと会いたかった、文芸部の部長だったY子さん。同期会の終了直前お2人に声をかけて連絡先を聞き、もう1人の同期生N子さんと、4人でグループプレーLINEを作り交流するようになった。普段あまり話せないようなことまで打ち明け合ったり、文化・芸術や時事問題までチャットして、とてもいい刺激になっている。

奥能登の友人はその後9月の豪雨で村落に通じる道路が損壊し、そこでの住まいを諦め、自然豊かな近くの里に愛犬も共に移住。先日テレビのニュースで「東京の中学生が修学旅行で能登地方を訪れ、田植え体験」と報じられたが、「画面に私も写ってます」とSNSに投稿が。修学旅行生の受け入れて忙しくなると聞いていたけど、このことだったのね。久々の明るいニュースをK子さんにも知らせ、共に喜んだ。そのK子さんは神戸在住。5月に私も参加する五行歌の作品展示会が神戸で開催されたので、何年かぶりに待ち合わせて一緒に展示を観

て、ランチ。その後K子さんのおうちにお邪魔した。おつれあいさんが丹精こめて育てているという庭の色とりどりのバラに感心したら、「誕生日にバラを贈る習慣で、その枝を挿し木にして育ったのよ」と教えてもらった。枝を切って挿し木にしても育って花を咲かせるのは、十に一つだそう。挿し木にする途中の植木鉢のなかの枝たちも見せてもらった。

Kさんの家族は芸術家一家だ。おつれあいさんの描いた日本画をソファに広げて見せてもらい、庭の花を眺めながら、おしゃれなケーキとジュースをいただいた。

黄泉の国に旅立った

級友を思えば

私は何でもできると思える  
死してなお私の道を照らす  
やさしいひかり



同期生のなかにはもうこの世にいないひとたちもいる。そんなひとへの思いをうたった私の五行歌が2月の新春合同歌会で主宰賞をもらった。これまで賞など縁のなかった私にとって有難い僥倖だ。  
「やさしい」という言葉がA君の投稿とかぶるのも、ワタシたちらしいと思う。

(著者プロフィール) パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。  
「放課後クラブ『チャレンジ・キッズ』」代表  
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>

【鉄道+御朱印】=[鉄印] ~鉄印旅は、楽しいよ⑧❤️~

~京都丹後鉄道~2025.1.3~

【京都丹後鉄道】「京都丹後鉄道」は、「北近畿タンゴ鉄道」の運行部分を引継ぎ、WILLER TRAINS 株式会社が運行する、京都府北部の丹波、丹後地域と兵庫県北東部の但馬地域を走る鉄道です。舞鶴市と宮津市を結ぶ「宮舞線」、宮津市から与謝野町、京丹後市を経て、兵庫県の豊岡市を結ぶ「宮豊線」と、福知山市と宮津市を結ぶ「宮福線」があります。

京都丹後鉄道の宮舞線沿線には、由良川橋梁があり、海面から約6.2mの高さで、車窓から水面が目線の高さに見え、まるで海の上を走っているように見えるポイントがあります。



京都丹後鉄道  
~2025.1.3~

【今回は変化球☆バス旅+鉄印です】

うちの夫婦は子どももいないし、どちらの両親も祖父母も亡くなり、お正月休みに取り立ててやることもないので、いつしか日帰りバス旅をするのが恒例になっています。さて、今年はどうしよーかなーとネットを見ていたら、お手頃価格で美味しそうなカニ旅行が次々出てきます。そして普段から鉄印チェックしていたので、あいだに鉄道情報もなぜか挟まってくるのですね(このあたりの仕組みはナゾ??)。カニと鉄印が被るところと言えば『京都丹後鉄道』鉄印がもらえるのは、天橋立駅だけです。

ということとさらに調べると、由良川橋梁の一区間電車に乗ると言うのもありますが、これでは鉄印は戴けません。天橋立からそのまま観光が組み込まれていても、鉄印は戴けません。バス旅は忙しいですからね。カニが美味しそうでないのはもちろんパス！ お昼ご飯は、バス旅選びの最重要ミッションですからね。

電車には乗れるに越したことはないけれど、前に久美浜いくときとかに乗ったこともあるし、別のバス旅で、由良川橋梁を渡るのは経験済みなので…ここは鉄印をゲットできればよしとするとして、バスツアーを吟味しました。

そして①天橋立駅近くで1時間のフリータイムが



あり②カニが美味しそうで③値段もお手頃で④枚方市駅から出発という神ツアーを発見しました。お正月には、お正月限定鉄印というものもあるそうで、うまくいけば手にはいるかも。

当日はあいにくの大雨でしたが「股のぞきしたかったなー」とか言う煩惱から解放されたので善しとして(笑)。元伊勢籠神社を観光→天橋立でカニ→そのまま一時間天橋立周辺を自由散策です。カニが予想外に大量で、うちのご主人は足の食べやすいところしか食べないので、残りは私がすべて「美味しくいただきました」してたらまあまあ時間オーバーになってしまい、慌てて天橋立駅へ向かいました。

鉄印帳記帳には、①鉄印帳を見せること②当日の切符を見せること、の2つが揃わないといけないというルールがあるのですが、乗らなくても一駅区間の切符を購入すれば頂けます。もちろん乗った方がいいのですが、三セク鉄道への応援の意味で、車で回って切符購入して鉄印貰う方もいるみたいなので、私も一駅切符を券売機で買って窓口へ向かいます。

すると駅の窓口はひとつで、外国人の方の長蛇の列！ 特急切符を買う、JRで言うところの『みどりの窓口』みたいなのに、鉄印購入も並ばなければいけないようです。会話しながらゆっくり進む列にならなくて、約30分で鉄印ゲット！ 無事に、お正月鉄印を購入することができました。

(行けたらいきたいなー)と思っていた『知恵の餅』を食べたら時間切れで、バスに戻らなければ行けません。「天橋立観光してないやん」という突っ込み入りそうですが、当初の目的はコンプリートできて、私は満足❤️ カニも堪能して、甘味も食べて、いいお正月になりました。(たなべみか)

## シリーズ『作らずにはいられない』(28)

## 新習慣／毎朝33mの山登り

人類は“作る”動物だ。石器時代からずっと、自らの手を使い、様々なものを作り出し続けてきた。あふれるほどのモノたちが簡単に手に入る文明の時代に生きる私たちが、ふいに先祖返りのように“作る”衝動におそわれるときがある。

このシリーズは、そんな「作らずにはいられない」、ひとりの男の記録である。

この4月に、同じマンションの別棟に住む孫娘が小学生になりました。

それにともない、じいじの新習慣として、毎朝の集団登校に付き添って歩くようになりました。

うちのマンションは、小学校区のいちばん端に位置していて、途中で京阪電車の踏切もあり、通学路も、抜け道のようになっていて、通勤通学の車や自転車が細い道をけっこうなスピードで通り抜けるため、じいじとしては心配なためです。

朝の京阪踏切は、ほぼ開かずの踏切で、開いたとしてもまたすぐに閉まるという、大人でもそこそこ怖いものです。高架工事も進められているようですが、完成はまだ遠そう。それまではじいじも頑張るかな。

校区の端なので、マップで測ると、「1km徒歩15分」、と出てきます。小学校は山のてっぺんにあるので、標高差も計ってみると、33m。つまり毎朝、33mの山に往復30分かけて山歩きです。

この新習慣にはメリットがいっぱいありました。

まず、こんな朝の山歩きの習慣って、なかなか身に付きません。わたしも何度か思い立って始めたことはありますが、雨が降ったり暑かったり寒かったりすると、ま、今日はいいか、となつて、いつの間にか立ち消えになります。でも、学校は土日以外は毎日あるので、休む言い訳がなくなります。

もうひとつ、大きなメリットは、ふつうに生活していたらなかなか親しくなる機会のないマンションの住人の子どもたちや、親のみなさんと顔見知りになる貴重な機会に恵まれることで

す。

もともと、登校のつきそいは、うちのマンションで長らく自治会長をされている大先輩がやっておられました。わたしはそこへ勝手に「弟子入り」させてもらった形です。自治会長さんは、一人暮らしの高齢者がとても多くなっているうちのマンションで、いろんなイベントなどを企画したり孤立化を少しでも防ぐための活動をされています。

わたしの子どもたちが小さいころは、マンション内だけで登校班がいくつまでできるほど小学生も多くいて、子ども会でのイベントなども開催されていたのですが、子どもの数が減り、一時は小学生ゼロ人という時期もあったようです。それが最近、住人の入れ替わりもあってか、子どもの数も少しずつ増え、今年うちの孫も含めて全部で5人の1年生が登校するようになったのでした。

そこで、親睦を深めようと、校区内にある、LIP紙上でも紹介した「つつみの駄菓子屋さん」へ、新一年生みんな遊びに行く遊びを自治会長さんが企画してくれました。わいわいがやがや、おしゃべりしながら遊びに歩いて行って、近くの公園で走り回って遊んだり。楽しそうに遊ぶ子どもたちを見ていると、こちらも楽しく元気になれますね。

とても楽しかったので、次は、これも校区内にある「街かどデイハウス枚方市駅前わくわく」の部屋を借りて、お楽しみ会みたいなことをやろうとか、昔やっていた子ども会餅つき大会を復活させたいとか、やりたいことがいろいろ出てきます。忙しい子育て世代の親たちが企画するのは難しくても、できる人がやったらええやん、って思います。楽しみがいろいろ増えました。

いろいろな機会を作ってくれた孫に感謝。自分の子どもを育てている時にも思っていました。子どもたちが地域へのつながりをいろいろ作ってくれる。孫も同じですね。「子はかすがい」って言うけど、夫婦間だけでなく、地域ともつながいでくれる。孫はなんて言うんだろ？

(文 LIP編集局 わたなべ)

## 114号線は、涙道～帰宅困難区域特定解除地への「里帰り」

=====  
 原発賠償関西訴訟原告の一人である菅野みずえさんは、帰還困難区域特定解除の地にあるかつての住まいを4月に訪ねられ、そこで感じたことをフェイスブックで発信し、53回期日のミニ報告集会でも発言されました。『LIP』5月号の裁判傍聴記の最後にちらとそのことを書いたところ、もっと詳しく全文を知りたいという読者からの声を受け、著者の許可を得て転載させていただきます。

## 114号線は、涙道

=====  
 帰還困難区域、元帰還困難区域を走ると目につくのは水仙の黄色ばかり。  
 猪が食べないから水仙だけは残る。除染されても少し残った球根が生きて増えていく。  
 普通なら綺麗と通り過ぎられる道沿いの水仙だろうけど、わたしには哀しくてやりきれない。  
 沢山の花の色で溢れていたはずだった。長い冬を通り越して咲く花をみんな沢山植えていた。  
 この14年で残った水仙たち。  
 家々が取り壊され、還れない敷地に、そこに人が住んで居たことを示すのは水仙だけ。  
 取り残されて、通る人に健気に此処に暮らしがあったのだと知らせている花。  
 悔しくて泣けてくる。  
 114号線は涙道だ。悔し涙の道だ。  
 片仮名でフクシマ事故とよばないでくれ！東電原発事故なんだ！と通りながら泣ける。  
 片仮名でも漢字でも、フクシマ、福島と呼ぶことで、原発事故は福島の地域的なこと、県内の人には浜通の事と限定させて意識下に刷り込むのだ。  
 少なくとも静岡以北岩手以南に影響を及ぼす東電という一企業と国の政策による大惨事。  
 気づかせない片棒を反原発が担わないでくれ！と思う。  
 自分事なんだ、本当は！ あなたの事なんだ！  
 フクシマ福島って言うから、東電は企業の社会的責任ぶん投げて人の暮らし奪っておきながら、あんなに傲慢で居られるんだ！  
 社会的に東電原発事故と責められていない、あれはフクシマ福島事故なんだと東電が居直す手助けしてるんだ、と悔しい。  
 他人事なのかな。  
 東京中心に回ってく社会なんだな、だからフクシ

マ福島って地域限定させる役割だと気づきもしない。

そいで言うんだね。

フクシマを忘れないって。

ふん😞🌧️終わっても居ないんだ。

汚染水汚染土エフレイみんな派生して、どんどん酷くなっているのに。終わったみたいに忘れない！忘れない！って善意のつもりで、終わったことに加担しているって気づきもしない。

水仙しか咲かない暮らしの何処を忘れないって言うのさ🌟

みんな一続きのことなのに。

終わってなんか居ないんだ🌟

生きてるのに、忘れないって死んだ人みたいに覚えていようねって呪文なんだって、何故気づかないの？

明日あなたの事なのに。

涙流して運転してる帰還困難区域、道路拡幅工事の旗振りの女性が、土埃立つ道で、またマスクもしていない💧

何なんだ🌟

何なんだ🌟

この前担当者に働く人の健康守ってくれと電話して、ちゃんとするように責任者に言うって言ったのに🌟

こうやって悔し泣きしながら、今日も竹伐りする。日曜に駐在さん居るならば、盗難届出して来る。

家の西側と後ろの網戸5枚無くなっていた。こんな被ばく網戸盗んでどうする？

何処もかしこも怒りの渦だ。

ねえお茶っこしにおいてよと飯館の友達に電話する。

やんだよ～、おら津島なんて恐いとこ行きっちゃくねえべ。

あんやあ正常な判断だべしたと笑う。

いんや、おら年取ってよ、ダンプの多い津島は運転恐いんだ、猪と猿とダンプに気を付けなと笑う。

いつかまた会うべ！

それまで元気でいっぺしたと互いに言って、電話を切る。

やっと笑えた。

(2025.4.20 Mizue Kannno)

LIPが選ぶ

# 今月の五行歌

たかが3分

されど3分

カップラーメンにウルトラマンも

私も駆まで

ダツシユだ3分

ふわり

やりたい事は

全てやるのだ

その真最中に

命が尽きれば

それも運命さ

浮游

4月20日 日曜日

ちえこ

きょうは夏日

バス停に座った

おばあさん

アイスモナカをかじる

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。  
(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com  
または 090-5893-5635・豊高)

No.46

## なんちゃって農業女子(笑)

今回も「醤油作り」の報告からです。写真①は『二か月经った醤油の写真』です。高槻の『テマヒマ』という古民家セレクトショップ&カフェにて醤油のお勉強をさせていただき、醤油作りにチャレンジして二ヶ月経ちました。ほぼ毎日攪拌中(正直に言います。時々サボってます)前回との違いはやはり分かりにくいのですが、分解が進んだ証拠は「かさが少し減っている」ことです。色も少し濃くなっています。分かりにくい??(笑)

でも、また経過報告させていただきますよ!

さて、今回も「果樹」について。二回目の勉強会は、6月1日なので、この原稿書いている今はまだ参加してなくてお勉強したことの報告はできません。前回にもご報告したように、三重県のアゲハ蝶がきます)が飛んできて卵を産み付けたりします。無農薬では無理ではなか??とと思っていましたが、先生は、「観察して、卵を見つけたらテデトールという無農薬を使う(笑)」そうです。どの樹のどの葉っぱにいつ何個たまごを見つけたか?ノートに記録しました。見つけ次第テデトールを発動したのですが……親(蝶々)は流石です。人が気づかない様な場所に卵を産み付

けていました。写真②分かりますか? 小さな卵。これは見事にテデトール発動!!が、しかし写真③いつの間にかこの様に卵から芋虫へと成長し、レモンの葉っぱをむしゃむしゃ

そんなこんなありながらも写真④の様に花もちゃんと咲いてくれたので、これからその花がどうなっていくのか楽しみです。次回は果樹の講座後なので、またその報告します。

文・写真/へそくん



写真①



写真②



写真③



写真④

桜 白雲

平成元年（1989年）に、家を新築した。その時、父から桜の苗木を貰った。あれから36年、2mにも満たなかった苗木はぐんぐん育ち、2階の窓いっぱいには枝葉を広げるまでに成長した。

手の届きそうな近さまで雀やモズやメジロが飛んできて、忙しそうに楽しそうに梢を飛び跳ねる。

桜は四季折々の自然を私に届けてくれる。満開の花は春の到来を告げる。夏は陽射しをさえぎり木陰を作る。赤く色づいた秋の葉をサワサワと通り抜ける風が見える。心がすつとする。葉を落とす冬は、強風になぶられながらも着々と春を迎える準備をしている。枝に潜む小さな芽からは内に秘めたエネルギーを感じる。

ところが桜は厄介者で、世話がやける。虫がつかややすい。秋の紅葉も落葉になると嫌われる。そのせいか庭に植える人は少なくなった。だが私は父のおかげで、部屋の窓から桜を楽しめる贅沢を堪能している。

「庭に植えとき！」と、ヒヨイと苗木を手渡してくれた父の姿をよく思い出す。父は青春の大半を戦場で過ごした。老後は白雲と雅号をつけてもらい、水墨画を唯一の趣味として暮らしていた。雲を見るのが好きだったようだ。私は戦場で流れる雲を仰ぎながら、ふるさとに思いを馳せる父の姿を連想する。そんな父の姿を彩るのは、ピンクの花であり、濃い緑の葉であり、燃えるように紅葉

した桜の木だ。

花が満開の時、息子や孫達が来ると、2階に誘う。

「きれいやなあ」と、息子たちは一瞥するとさつさと階下に降りていく。

「毛虫の木やあ、いやや」と、孫たちは虫を連想するようだ。私には理解しがたいほど虫が怖いらしい。

花見においでと、近所の友人せつちゃんを誘った。彼女は

「私に通っていた小学校の校門の桜を思い出した、学校で行事があるといつも木の前で写真を撮ったんだよ」と、うっとりとして眺めてくれた。

桜は人をひきつける。人々は花の下に集い、料理を楽しみ、親睦を深める。私は桜に四季の美しさを皆に伝えて欲しいと、願う。自然からもらう感性は、心に潜む癒しの心を呼び起こし、穏やかな気持ちになれる。

はらはらと花びらが舞い、今年も花の季節が終わり、緑の季節が始まった。

(2025年4月)

エッセイサークル「叢（くさむら）」の、筆名「白雲」さんの作品です。

「叢」は、ステーションヒル枚方五階の生涯学習交流センター・集會室にて、毎月第四水曜日に例会が開かれています。

年刊の作品集「叢」は枚方市立中央図書館に所蔵されています。

イベント・サークル・ボランティア情報

【参加者募集】 放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

情報交換・交流会

子どものこと、学校のこと、高校進学、勉強や、家庭での時間の過ごし方について、気になることはないですか？

保護者どうし、時には支援者を交えて、おしゃべり情報交換しましょう。

◆日時：6月26日（木）11時40分～12時30分

◆場所：ラポールひらかた 3階 和室

◆参加費：初めての方は、年会費として500円

（同じ場所で、10時30分～11時40分は、「身体まぐしのフェルデンクライス体験レッスン」（要予約）を行います。持ち物おバスタオルと水分、参加費は1500円程度です）

問い合わせ・申込み先：

090-5893-5635（豊高・18時以降）

c-k@love-dugong.net

◆主催：放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」



# イベント・サークル・ボランティア情報

## メンタルケア短期講座 ～講座体験・講座説明会～

身近な人や職場、地域社会における心理支援や対人関係の改善を目的とした短期講座の体験と説明会です。(2回とも同じ内容)

### ◆日時

6月13日(金) 10:30~12:00  
6月20日(金) 19:15~20:45

◆場所: ラポールひらかた 研修室1

◆参加費: 無料

◆定員: 15名

◆対象: 18歳以上

申込・問合せ: NPO法人京阪総合カウンセリング

TEL 072-814-7140

メール jim@npo-ksc.net

http://www.npo-ksc.net

## 万博とカジノと私たちの暮らし

万博開幕3ヶ月目となる7月13日、ここで、じっくり「万博」「カジノ」と私たちの暮らしを考えてみませんか? 講師として万博・カジノ問題をずっと追いかけて来られた西谷文和さんをお迎えします!

- 🌻 とき 7月13日(日) 午後2時~4時
- 🌻 ところ 交野ゆうゆうセンター2F 体験学習室
- 🌻 おはなし 「万博とカジノと私たちの暮らし」(仮題)  
西谷文和さん(フリージャーナリスト)
- 🌻 参加費 500円
- 🌻 主催 交野・憲法と暮らしを考える会

連絡先 ☎ 072 892 4938

※特に予約は必要ありません。どなたでも参加できます。

## 図書館を考える講演会 図書館は人を育て町をつくる

◆講師 山口源治郎氏(東京学芸大学名誉教授)

◆6月15日(日) 午後2時~4時

◆枚方市総合文化芸術センター別館(旧メセナ) 第5会議室

◆主催 枚方の図書館をよくするゾウの会・香里ヶ丘図書館を見守る会

連絡先 井上 090-9166-2970

駒木根 090-3820-6803

◆参加費 300円

各地の図書館に関わってこられた先生のお話を聴き図書館の役割、可能性、そして枚方の図書館の未来について考え、交流しましょう。

## 【枚方自閉症児(者)親の会】

自閉症だけでなく生きづらさを感じながら生きている人、その保護者や関係者の方々。どうぞフリートークでご参加ください。話すことにより、何か新しいことに気づけるかもしれません。

◆日時: 6月23日(月) 10:00~12:00

7月14日(月) 10:00~12:00

◆場所: ラポールひらかた 4階共用ルーム

※連絡先 春名 072-397-0053 団 072-868-7359

応援ありがとうございます!

# LIP 応援団

匿名希望さんより、切手寄贈

橋本朋子さん、山下恵江さん

## LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
39,625	前号から繰り越し
5	銀行利息
885	応援団寄付
▼7,744	5、6月号用紙
▼500	ロッカー代
▼1,240	5月号印刷代
▼1,190	郵送代
29,841	計(次号へ繰り越し)

# STOP WAR NOW LOVE & PEACE

◆LIPは市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか?



イラスト 表紙、P7、P8: 平井由恵 P2: よし美



新しいジブン、見つけてみいへん?  
枚方で仕事を探すなら!

## ひらつー求人

ほぼ枚方市内と近くの求人だけ集めた  
枚方つーしんの求人情報ページ

ひらつー 求人 🔍

WEBからアクセス ➡

